

2012 年度 防災教育チャレンジプラン

活動・予算計画書 (入門枠 応募企画書)

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局 御中

記入日：2011 年 12 月 12 日

下記のとおり、応募します。

(全 4 ページ厳守)

プラン名	ぼうさい町の安全安心ぼうさい対策！			
	採択された場合、上記「プラン名」を 1 年間使用しますので、ご注意ください。			
応募金額	5	万円	1 万円未満を切り捨てた金額を記入してください。 上限 5 万円です。(査定により減額される可能性があります)	
応募部門	()	A. 保育園・幼稚園の部	()	B. 小学校低学年の部
	(-)	C. 小学校高学年の部	(-)	D. 中学校の部
	(-)	E. 高等学校の部	(-)	F. 大学・一般の部
	該当する部門に 印を付与してください。(複数選択可)			

応募団体名	ぼうさいプロジェクトチーム			
住所	〒999 - 9999		TEL	03 - 9999 - 9999
	東京都 区 1 - 1 - 2		FAX	03 - 9999 - 9999
	ビル 3F		E-mail(*)	cpinfo2865@bosai-study.net
団体代表者名	役職	代表	フリガナ	ホウサイ タロウ
			氏名	防災 太郎
団体担当者名	役職	事務担当	フリガナ	ホウサイ ジロウ
			氏名	防災 次郎

連絡先 1		連絡先 2	
メール受取者名(1)	防災 太郎	TEL	(-) 自宅 () 勤務先等
E-mail(1)	cpinfo2865@bosai-study.net		03 - 8888 - 8888
メール受取者名(2)	防災 次郎	携帯	() 個人 (-) 社用等
E-mail(2)	cpinfo2865@bosai-study.net		090 - 9999 - 9999
1 事務局からの御案内は、原則メールで配信いたします。電子メールの迷惑メール対策等でメール着信に御不安があり、上記 E-mail(*)を含め複数アドレスにメール配信希望の団体は、こちらに記入してください。		2 応募に関するお問合せをさせていただく場合があります。昼間、連絡のつく方の連絡先を記入してください。また、団体・勤務先・自宅の別が分かるよう記入してください。	

個人情報の取扱いについて

ご応募の際にご提供いただいた個人情報は、選考及び結果通知等に利用致します。
 詳細につきましては、ホームページ上のプライバシーポリシーをご覧ください。
 ご応募されたことをもって、本事務局のプライバシーポリシーに同意されたものとみなします。

1. 応募動機

チャレンジプラン応募に至った経緯			下記、複数選択可
()	募集リーフレットを見た	どこで:	市役所 部 課
(-)	知人の紹介	具体的に:	
()	ホームページを見た	()	メールマガジンを見た (-) その他

上記選択肢以外に、「応募の一番のきっかけとなった活動背景等」を具体的にお書きください。

1. 地震で災害がおきたため、支援者として対策が急務と感じた。
2. 行政主導を期待したいが、予算の問題から実現されなかった。

2. 活動計画

対象			下記、複数選択可
()	幼児・保育園児・幼稚園児	()	小学生(低学年)
(-)	中学生	(-)	高校生
(-)	外国人留学生	(-)	教職員・保育士等
()	地域住民	(-)	社会人・一般
(-)	障がい者	(-)	養護学校児童生徒
(-)	海外	(-)	防災関係者
(-)	その他	(-)	全ての人々

詳細 市内の幼稚園児、小学生及び保護者、地域住民

対象災害種別				下記、複数選択可			
()	地震	(-)	津波	()	水害	(-)	火山噴火
(-)	不審者・犯罪被害	(-)	火災	(-)	災害全般	(-)	その他

詳細 ・東海・東南海地震、断層を震源とした直下型地震
 ・川の氾濫やゲリラ豪雨による浸水等の水害

活動目的			下記、複数選択可
(-)	遊び・楽しみながらの防災	()	防災に役立つ資料・材料づくり
(-)	災害を想定した訓練	(-)	災害を疑似体験
(-)	技術を身につける	()	防災意識を高める
(-)	その他	(-)	災害対応能力の育成

- 詳細
1. 家庭の防災意識と対策の現状、地域の取り組み状況を知る
 2. 家庭および支援者にむけた防災対策の資料作成と紹介
 3. 幼少期から「防災」についての知識を得る

主な協力・連携先			下記、複数選択可
()	学校・教育関係	(-)	同窓会組織
(-)	地域組織	()	国・地方公共団体等
(-)	ボランティア団体・NPO 法人・NGO 等	(-)	職業、職能団体
(-)	その他	(-)	保護者・PTAの組織 企業・産業関連の組合等 学術組織、学会等

詳細 ・ 地区自主防災組織、 小学校・PTA、 市役所防災関係部署

参考とする先進事例		防災教育事例集 (http://www.bosai-study.net/search/index.php) より、対象やプログラムの種類等のキーワードを組み合わせて事例を検索し、参考とするプランを1つ選択してください。	
年度	実践団体名	自治会	
20XX	プラン名	地区 防災まちづくりプロジェクト	
参考とする内容詳細 最終報告書や発表資料から 箇条書きで記入ください		<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災訓練(防災マニュアルの作成、実施、検証) ・避難所生活体験者を招いた研修会 ・非常食備蓄と防災クッキングの実演 	
プログラムの種類		下記、複数選択可	
(-)	イベント・行事	(-)	講習会・学習会・ワークショップ
(-)	総合的な学習の時間	(-)	教科学習
(-)	学校内クラブ活動	(-)	その他学校内での時間
(-)	家庭学習	(-)	出前授業
(-)	体験学習	(-)	読書・絵本・読み聞かせ
(-)	避難・防災訓練	(-)	その他
地域特性に応じてアレンジ・工夫する内容 箇条書きで記入ください		<ul style="list-style-type: none"> ・地域に近く、発生が切迫していると言われている 断層での地震を対象とする。 ・ 地区では、自治会を中心とした体制で防災訓練を計画・実施する。 ・ 専門家を招き、 地区における防災について講演いただく。 ・ 市内の親子を対象とした「防災」を考える教材を作成する。 	
実施内容及びスケジュール		1 ページに収まるように各項目の行を適宜加除してください。	

【計画・準備】

1	連携先(小学校、 市役所等)との調整	3~4	月頃
2	活動・予算計画の具体化(実行委員会からの採択条件、アドバイス等を反映)	4	月頃
3	地域防災に関する講演会の講師の選定、参加調整	4~5	月頃

【実践】

1	防災訓練の実施に向けた打合せ(マニュアル記載事項等の調整、月1回程度)	4~8	月頃
2	炊き出しメニューの考案(PTAを中心に実施) 地区内の備蓄食材や物資が不足した場合にでも対応が出来る様配慮する	5~6	月頃
3	防災マニュアル案作成(各担当が分担して作成)	5~7	月頃
4	市、 小学校と事前打合せ(防災用具・備蓄品確認、防災訓練の実施)	8	月頃
5	地区合同防災訓練と地域防災について講演の実施 午前中:防災訓練、昼:炊き出し・防災メニュー試食、午後:防災専門家による講演	9	月頃
6	親子向け防災ハンドブック試案作成(各担当が分担して作成) 家庭でできる防災への取組、災害時の生活・食に関する注意事項、防災クッキングメニュー等の考案	9~10	月頃
7			月頃
8			月頃

【評価】

1	防災訓練の反省会の開催(マニュアル及び当日の実施内容を評価)	9	月頃
2	親子向け防災ハンドブック試案の評価(PTA会合で実施)	9~10	月頃
3			月頃

【まとめ】

1	成果品(活動報告書)作成	11~12	月頃	2	次年度計画(応募企画書)作成	11~12	月頃
---	--------------	-------	----	---	----------------	-------	----

活動成果(その他の成果品)についてお書きください。

- ・ 地区版 防災マニュアル(防災訓練の実施等により、地域特性に応じた事項を記載)
- ・ 地域での親子向け防災ハンドブック案(日頃の防災への取組、災害時の生活・食に関する事項を記載)

2年間で防災ハンドブックを完成予定

期待するサポート内容		下記、複数選択可	
()	活動全般に対するアドバイス	(-)	サポーター・協力者等の紹介
()	資料・教材等の情報提供、紹介	()	勉強会・シンポジウム等での講演、指導
(-)	フィールドワーク等における現地案内、活動指導	(-)	チャレンジプラン以外の取組紹介

上記選択肢の補足説明として、「期待するサポート内容」を具体的にお書きください。

について、防災教育チャレンジプラン実行委員の 委員にアドバイスをいただきたいと考えています。

3. 予算計画

活動予算について、活動支援金として計上可能な項目については、最終ページ「(参考)活動支援金について」を参照し、次の項目に従って記入してください。

(単位：万円：小数第2位切上げ、小数第1位止め)

項 目	金 額	内 容(単価・数量などを含む)
謝 金	3 万円	講師謝金
交通・宿泊費	万円	
会 場 費	万円	
会 議 費	万円	
通信運搬費	万円	
印刷製本費	万円	
資料・材料費	1.5 万円	防災教育コンテンツ(ハンドブック)制作、防災メニュー試作材料費
消耗品費	0.5 万円	印刷時におけるインクおよび用紙代等
役 務 費	万円	
保 険 料	万円	
そ の 他	万円	
<合計>	5 万円	上限5万円です。(1ページ目の記載額と同額のこと)

本書類を基に審査を行います。実行委員会の決定により採択時、応募額（希望額）が減額される可能性があります。また、減額に応じて活動・予算計画の変更をお願いする場合があります。

採択後、本活動・予算計画を変更する場合は、事前に事務局へ相談してください。

本計画書(応募企画書)・初版から修正を行う場合は、変更部分が判るように、MS-Word文書ファイル機能の「ツール」
「変更履歴の記録」をクリックして、修正履歴を表示した状態で、事務局に提出してください。

以上

(参考)活動支援金について

入門枠での活動支援金は「完了払い」となります。

なお、活動・予算計画書(応募企画書)には、認定証の発行予定日(毎年4月)から12月末日までの期間に使用予定の下記の項目について計上してください。

内容について不明点等ありましたら、事務局まで問い合わせてください。

【計上できる項目】

謝金	外部講師やアシスタント等、団体構成員以外の者に対する謝礼および旅費交通費。
交通・宿泊費	プラン実施の際の交通費および宿泊費の実費に相当する経費。
会場費	講演、会議等に使用した会場及び機材の実費に相当する経費。
会議費	外部の講師、指導者等との会議時の資料や簡素な茶菓代。
通信運搬費	資料送付の切手代、宅配便代等通信及び運搬に要する費用。
印刷製本費	プラン実施に必要な資料の印刷費。
資料・材料費	プラン実施に必要な資料・材料の購入費。
消耗品費	プラン実施に必要なコピー用紙、文具類等の購入費。
役務費	謝金以外の作業で、外部に依頼した人件費。

【計上できない主な事項】

パソコン等、汎用的な利用価値のある物品類。(データソフト、ハードディスク等)
「一式」等と一括りになった、単価や部数が不明確な領収書による支払い。
会議や宿泊時の飲食代。
実践団体の運営費、経常的・恒常的な活動経費への支払いとみなされるもの。
実践団体と同一人物が代表等を務める団体同士の支払い。
販売目的の成果物の作成費。
実践団体の構成員への謝金・人件費・お土産代。
実践団体の構成員のみによる会議の経費。(室料、茶菓代、お花代)。
講師、担当実行委員へのお土産代。
日当等、実費以外の交通費・宿泊費。
中間報告会および活動報告会(最終報告会)発表者の交通費・宿泊費。(一般枠は別途支給)

出典：実践活動事務処理要領(平成23年7月版)

注意！ 防災教育チャレンジプランの支援を受けた費用で得た成果物(各種配布物、掲示物含む)を販売することは一切認めません。また、これら成果物には、必ず防災教育チャレンジプランのロゴを付与し、防災教育チャレンジプランの支援を得て制作している旨の記載をしていただきます。